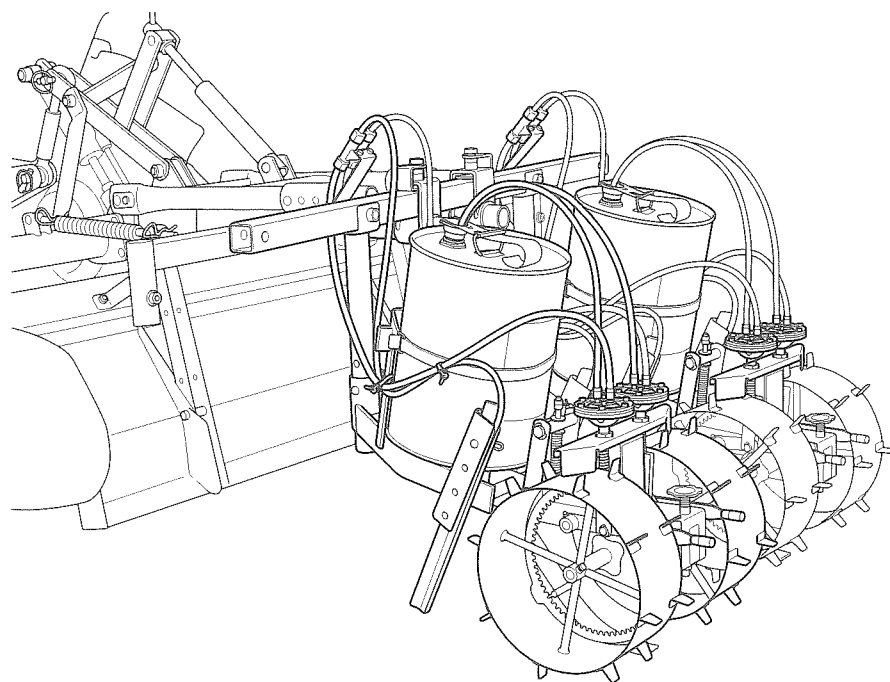


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みのるトラクター用土壤消毒機 IDT-44

取扱説明書



みのる産業株式会社


はじめに

このたびは、『トラクター用土壌消毒機4条型』をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮して安全に作業していただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、わからないときは再読してください。


土壌消毒機重要安全ポイント

1. 農道を走行するときは、
注入刀を上げスピードをおとし路肩に注意します。
2. ほ場へ出入りするときは、
スピードをおとし畦に直角に走行します。
3. 土壌消毒機を点検・整備するときは、
必ずトラクターのエンジンを止め、油圧をロックします。
4. 作業・点検等をするときは、
必ず防毒マスク及び防護具を着用します。
5. 補助者と共同作業を行うときは、合図をし安全を確認します。

安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記の通りですが、これ以外にも本文の中で安全上ぜひ守っていただきたい事項にを付けて説明しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

本書の使用マークについて

安全で快適に作業を行っていただくため、特に重要な項目には次のマークを付けています。よくお読みいただき、必ず守ってください。

-  ケガや事故の原因となり、人体の危険につながり得ることへの警告です。
ここで説明してある項目は、安全に作業していただくため、必ず守っていただきたい注意事項です。必ずよく読みこれらの注意に従ってください。

- 重要** 本機の性能を発揮させるための注意事項です。
よく読んで、本機の性能を最大限に発揮してご使用ください。

目 次

1	安全に作業するために	1
2	各部の名称	5
	・各部の名称	5
	・ポンプ関係の名称	5
3	作業前の準備	6
	・注 油	6
	・接地板の取付け方	6
	・本機の組立	6
4	トラクターの準備	7
	・トラクターの準備	7
	・トラクターへ本機の組込み	7
5	ご使用方法	9
	・注入深さの調節	9
	・ポンプの作動確認	10
	・タンクの取付け	10
	・吐出パイプの固定	11
	・施薬作業	11
	・ほ場での作業方法	12
	・ポンプの洗浄・保管	12
6	仕様・不調と処置	13
	・仕様	13
	・不調と処置	13
7	アタッチメント	14
	・3点リンクアダプター	14
	・トラクター用アタッチ土壤消毒機 2 条型	14

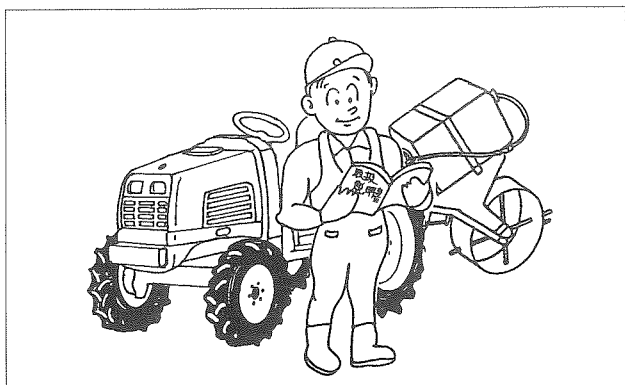
1 安全に作業するために

本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事柄を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行ってください。

■ 運転者の条件

(1) はじめに

作業をする前に、この『取扱説明書』をよく読むことから始めてください。これが安全に快適に作業をするための第一歩です。

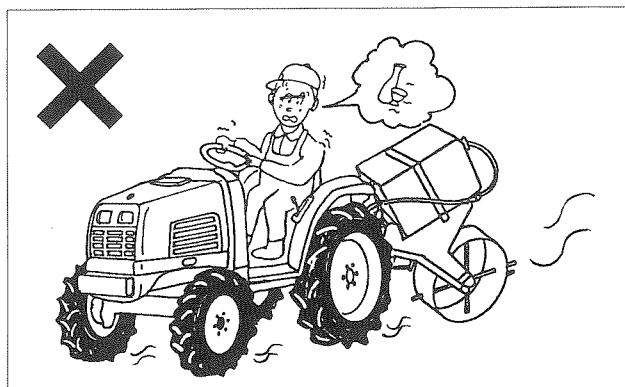


(2) 体調について

飲酒時、過労ぎみ、病気や妊娠している時は、作業をしないでください。

このような時作業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こします。

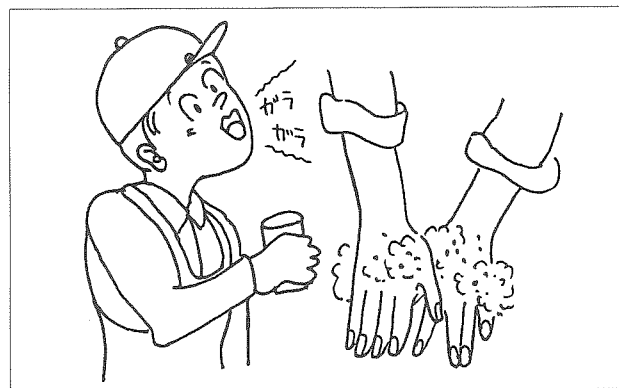
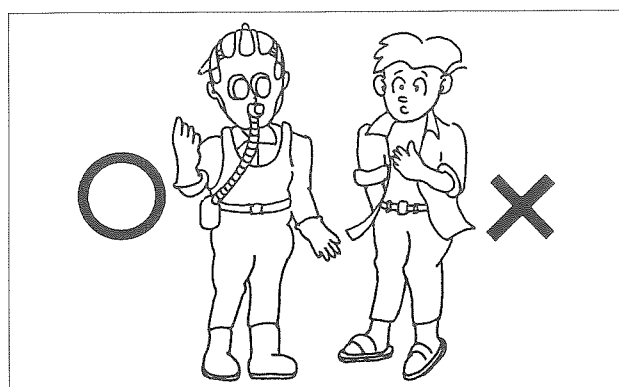
作業する時は、必ず心身とも健康な状態で行ってください。



(3) 防毒マスク及び防護具の着用について

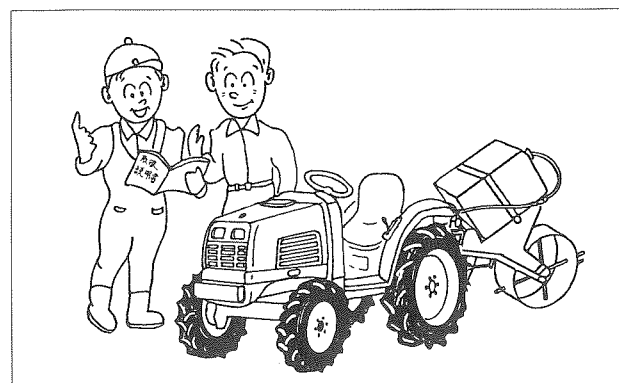
土壌消毒剤は有毒ですから、必ず防毒マスク(吸収缶は有機ガス用)、防護衣、保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、ヘルメット等を着用し、ガス化した薬剤を吸わないように作業してください。

作業後は顔・手足等皮膚の露出部を石鹼でよく洗い、うがいをしてください。



(4) 人に機械を貸す時は

機械を貸す時は、取扱いの方法をよく説明し、使用前に『取扱説明書』を熟読するように指導してください。借りた人が、機械の運転に不慣れなため、思わぬ事故を引き起こすことがあります。



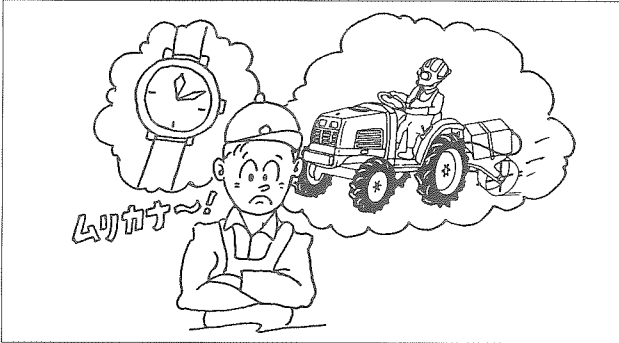


安全に作業するために

■ 作業を開始する前に

(1) 無理のない作業計画で

無理・無駄のないゆとりある作業計画を立てましょう。無理な作業計画は、あせりなどから思わぬ事故を引き起こすことがあります。



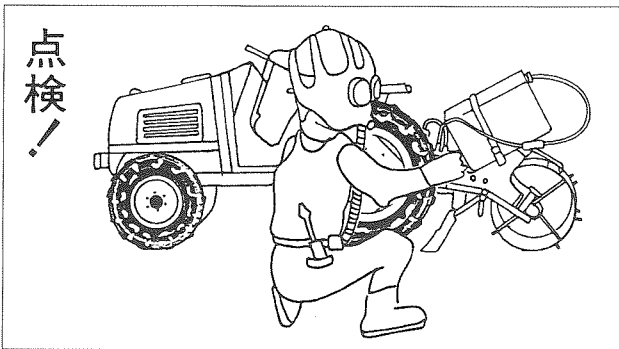
(2) 日常点検について

作業する前に、必要な点検・注油は必ず行ってください。

- ①薬液タンクのキャップはしっかり締まっているか。
- ②ホースの接続部ははずれていないか。
- ③ホースに破れや穴はないか。
- ④ノズルに土などがつまっていないか。

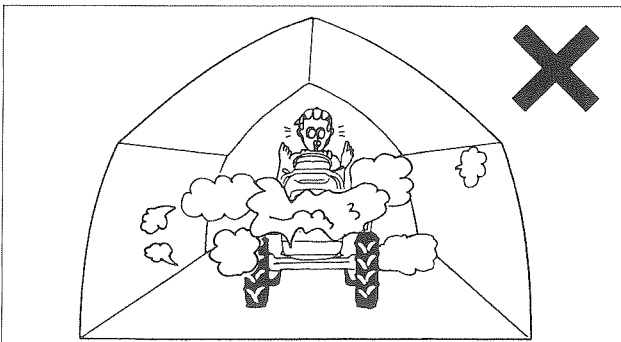
等の点検を忘れないでください。

点検をおこたると、薬液が漏れて思わぬ事故につながります。



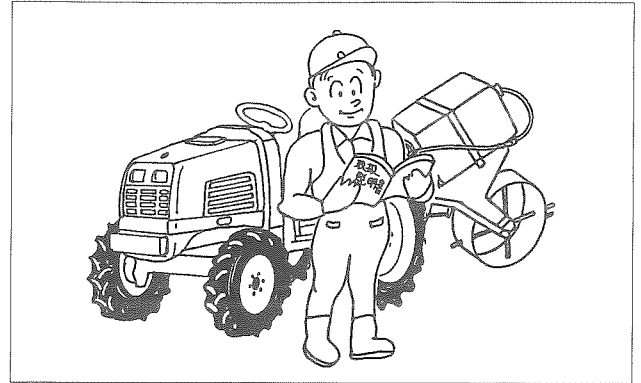
(3) 土壌消毒剤について

使用する薬剤の「使用安全基準」を守りましょう。特にガス化した薬剤のこもりやすいハウス内での作業は、出入口を開けて十分に換気をしてください。換気が悪いと、ガス化した薬剤を吸いこんで、涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。

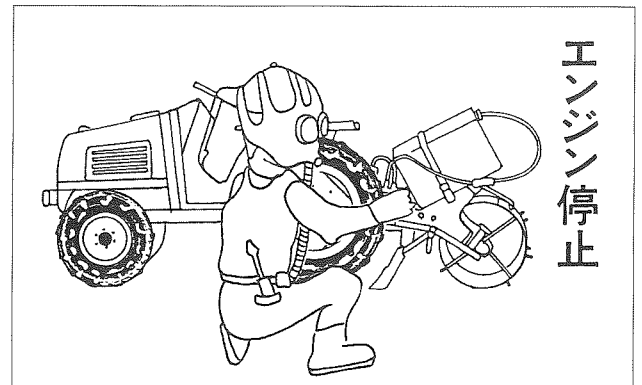


(4) トラクターの取扱いについて

土壌消毒機を装着するトラクターの『取扱説明書』を熟読し、安全作業に心がけてください。

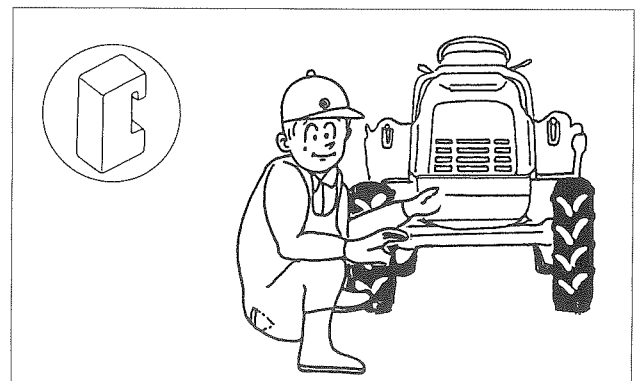


(5) 点検・整備は、トラクターのエンジンを止めて点検・整備を行う時は、必ずトラクターのエンジンを停止し、車止めをしてください。また本機落下防止のために油圧ロックまたは鎖を施してから行ってください。機械が動き出したりすると大変危険です。



(6) トラクターの重量バランスについて

土壌消毒機を取付けてトラクターの重量バランスが悪くなった場合は、必要に応じて前部ウエイトを取付けてください。操作性が悪くなり大変危険です。



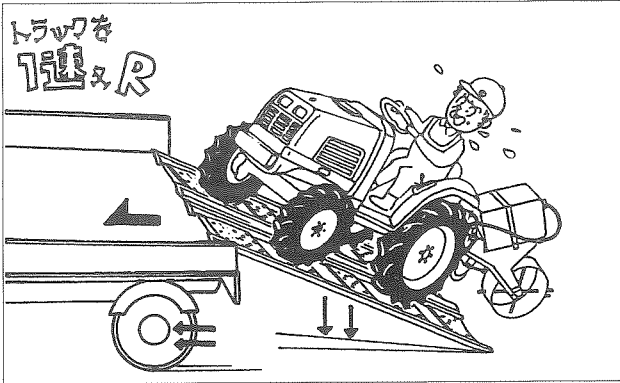


安全に作業するために

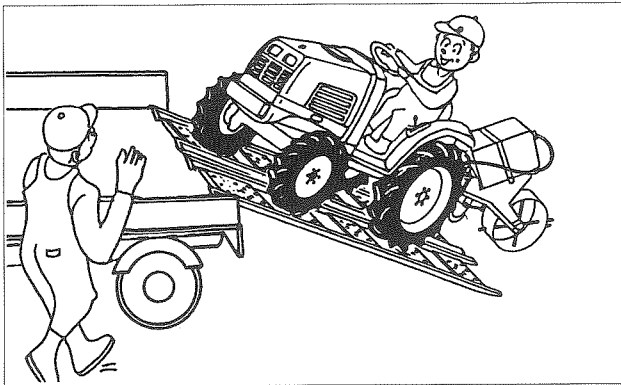
■ 移動・運搬時は

(1) トラックへの積込み・積降ろし

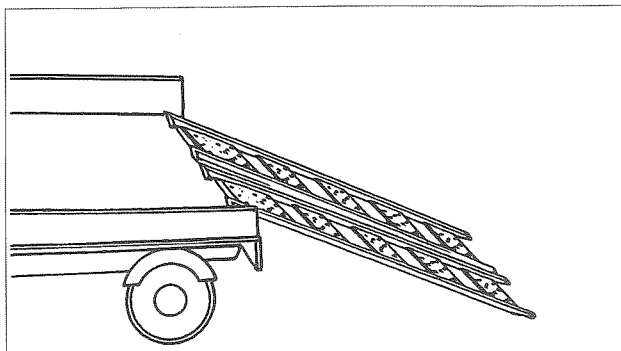
①積込み・積降ろし作業を行う時は、トラックのエンジンを止め、変速を『1速』か『R』位置にして、駐車ブレーキをかけ、車止めをしてください。これをおこたるとトラックが動いて転落事故を引き起こす恐れがあります。



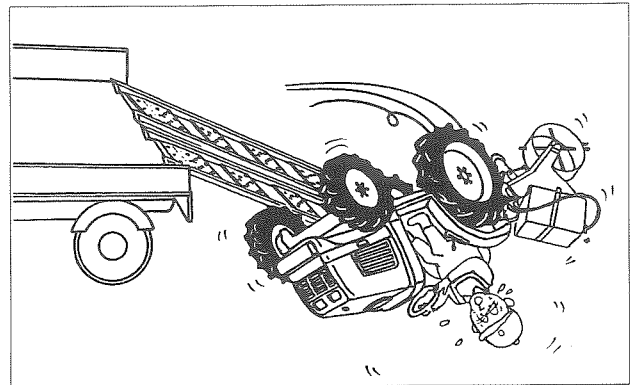
②積込み・積降ろし作業を行う時は、必ず誘導者を付け、周囲の安全を十分確認しながら行ってください。また、誘導者を機械の周辺には、絶対に立たせないようにしてください。障害事故の原因になり大変危険です。



③積込み・積降ろし作業を行う時は、強度・幅・長さの十分あるスリップしないアユミ板を使用してください。また、アユミ板はトラックの荷台から落ちないように確実にセットしてください。転落事故の原因になり大変危険です。



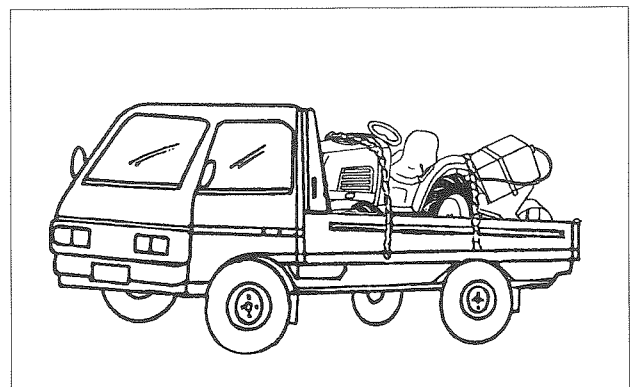
④積込み・積降ろし作業を行う時は、スピードをおとし、アユミ板からはずれないように注意してください。特にトラクターの前部が浮き上がらないよう前部ウエイトを十分に取付け、またアユミ板は長さ十分あるものを使用してください。転落事故、機械の損傷の原因になり大変危険です。



(2) 運搬する時

機械をトラック等で運搬する場合は、必ず機体本体をロープで荷台に確実に固定してください。運搬中は運転に注意し、不必要な急発進、急ブレーキ・急ハンドル等はしないでください。

機械が移動して大変危険です。また、長距離を運搬する場合は、安全のために途中でロープのゆるみ等を確認してください。





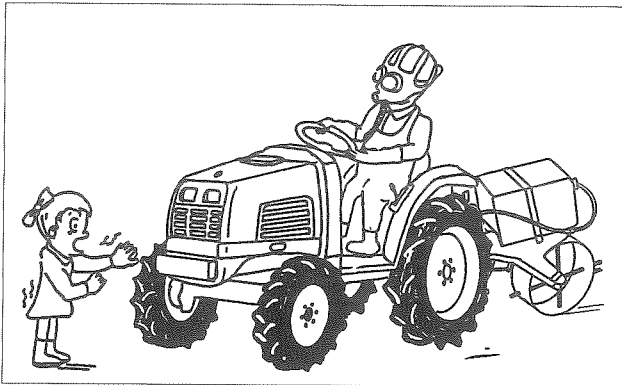
安全に作業するために

■ 作業中は

(1) 作業中は、回りの人に注意（特に子供）

作業中は、作業員以外の方は機械に近づけないでください。

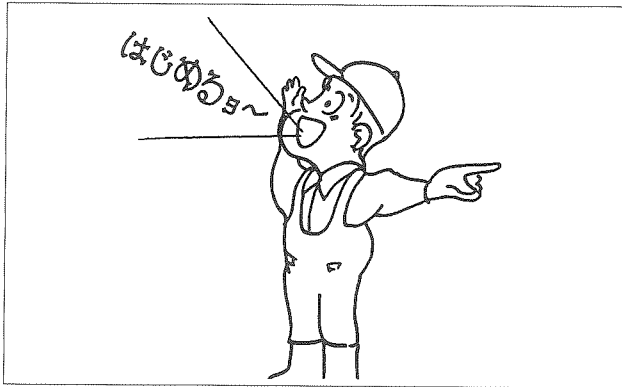
機械自体や、作業による飛散物等で、障害事故を引き起こす恐れがあり危険です。



(2) 作業開始時は、声をかけあって

作業を開始する時は、周囲の安全を確認し、特に補助者と共に作業する時は、声をかけあって行ってください。

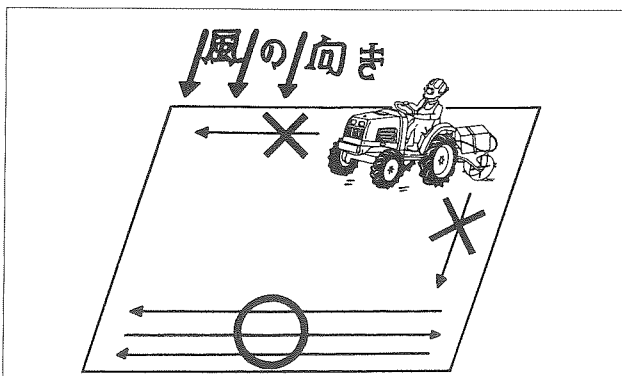
おこたると障害事故の原因になり大変危険です。



(3) 作業について

風が吹いている場合は、ほ場の風下側から作業してください。

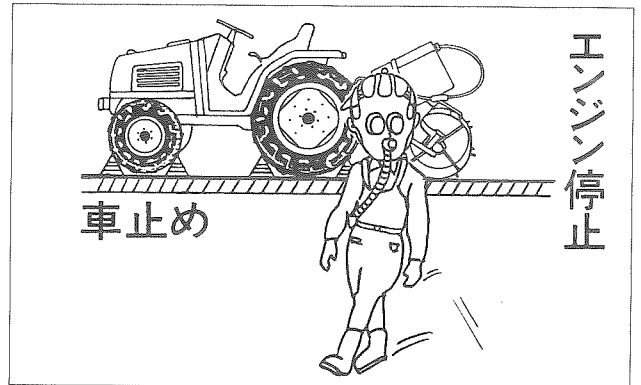
ガス化した薬剤を吸いこむと、涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。



(4) 機械から離れる時は

機械から離れる時は、トラクターのエンジンを停止し、車止めをしてください。止める場所は平坦な所で、地面が硬い広い場所を選んでください。

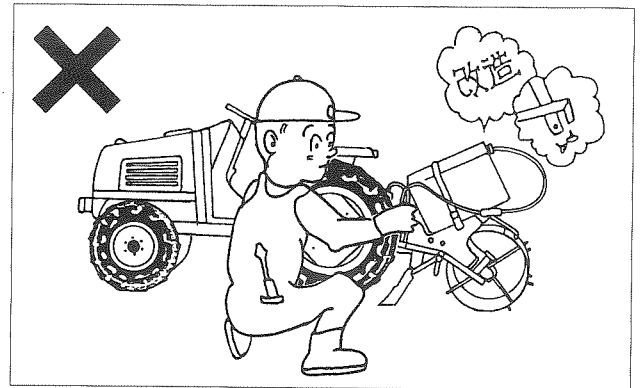
機械が動き出したりすると大変危険です。



■ 機械の改造は厳禁

指定以外のアタッチメントの取付けや改造は、絶対にしてしないでください。

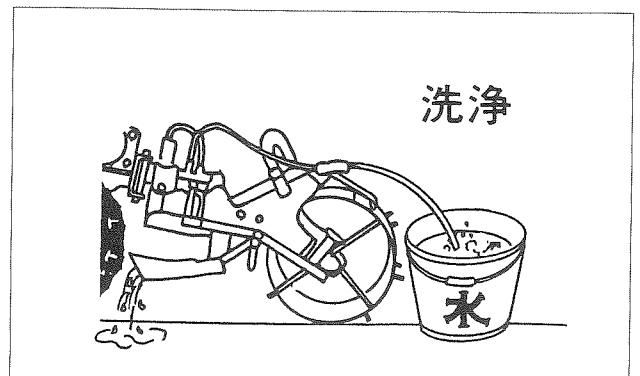
機械の故障の原因になるばかりでなく、思わぬ事故の原因になり大変危険です。



■ 格納時は

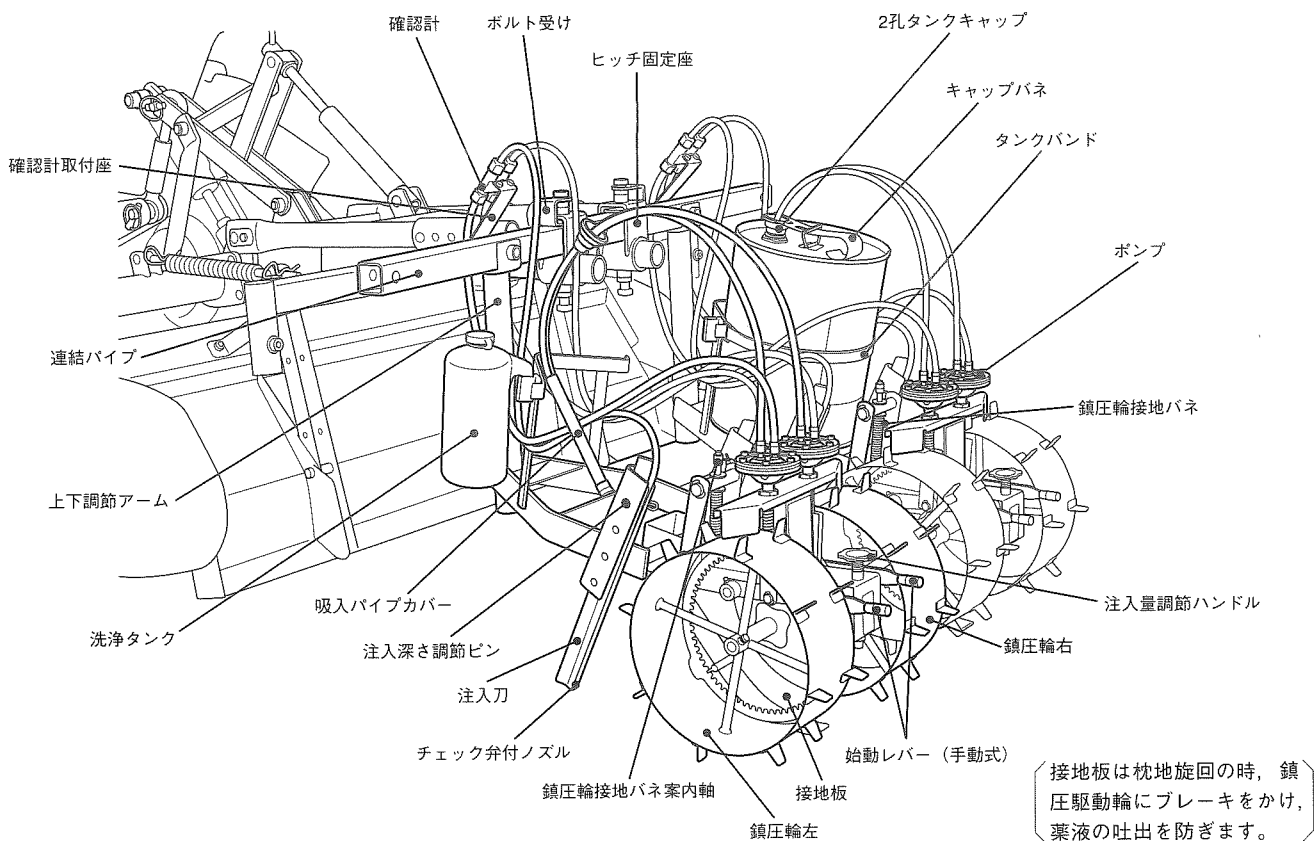
長期格納する場合は、ポンプ内を水道水で十分に洗浄し、ポンプ内の水を排出してください。

ポンプ内が腐食して機械の故障の原因になるばかりでなく、薬剤がガス化して思わぬ事故を引き起こすことがあります。

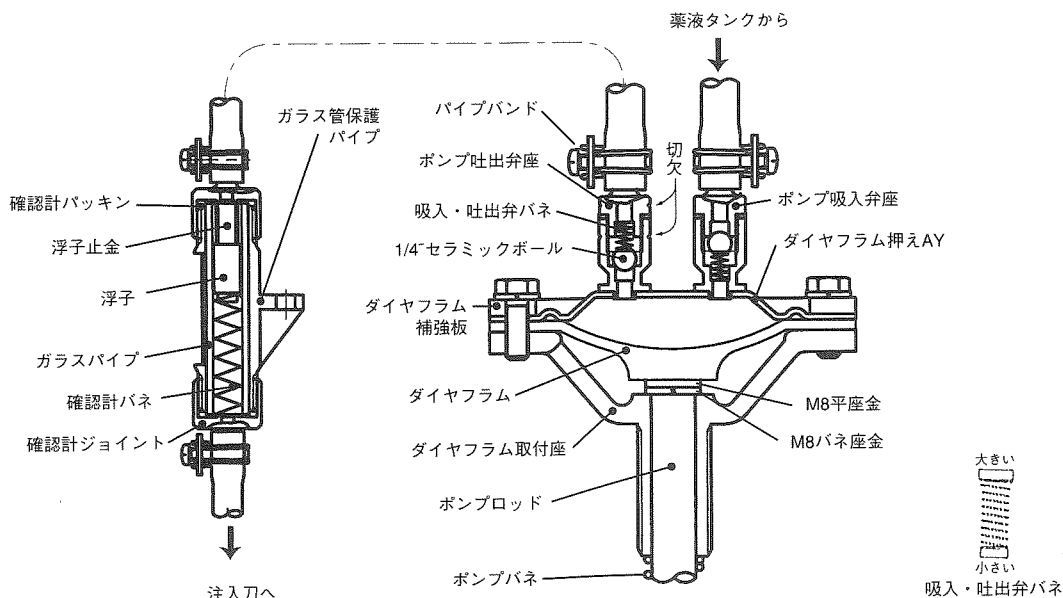


2 各部の名称

各部の名称



ポンプ関係の名称

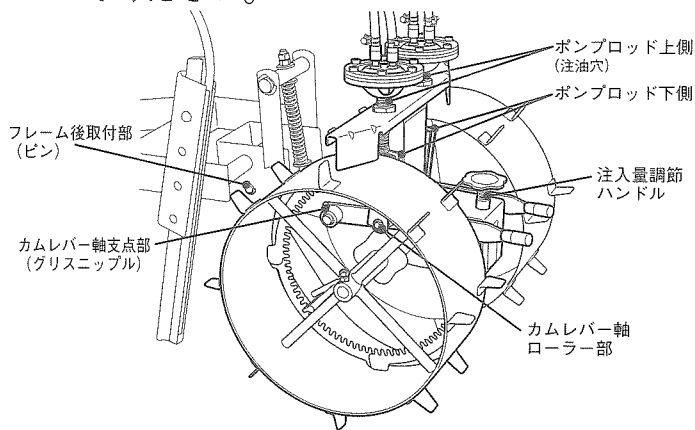


- 確認計及びポンプの解体・組立は上図を参考にしてください。
- 吸入・吐出弁バネはセラミックボール側を「大きい」方にしてください。

3 作業前の準備

■ 注油

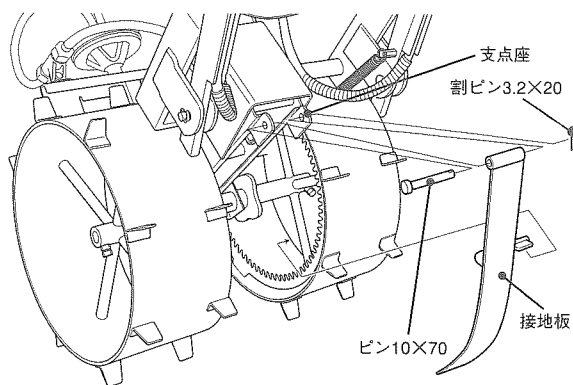
作業前には、下記の矢印部に必ず注油してください。



■ 接地板の取付け方

付属の接地板は枕地旋回の時等に、鎮圧輪の内側にブレーキをかけて、薬液の吐出を防ぎます。安全の為必ず取り付けてください。

●下図の様にフレーム下面の支点座にピンで取付けてください。



■ 本機の組立

(1) フレーム前に上下調節アーム(上から3番目の穴)を上下調節ピンで取付けてください。

(2) 案内枠(上から3番目の穴)に注入刀(上側の穴)を注入深さ調節ピンで取付けてください。

(3) 吸入・吐出パイプ900(2本)を上下調節アームの両側を通し、上下調節アームの上に連結パイプを置いてください。

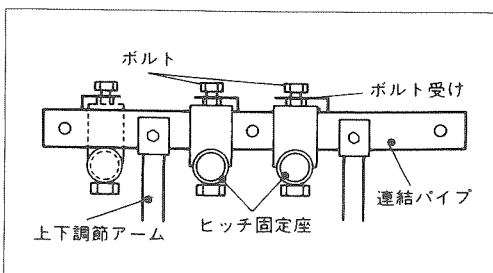
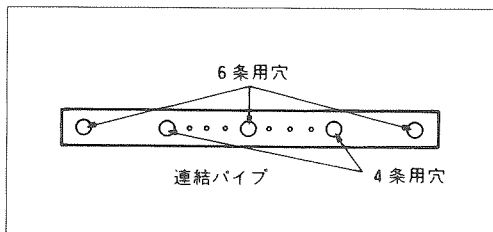
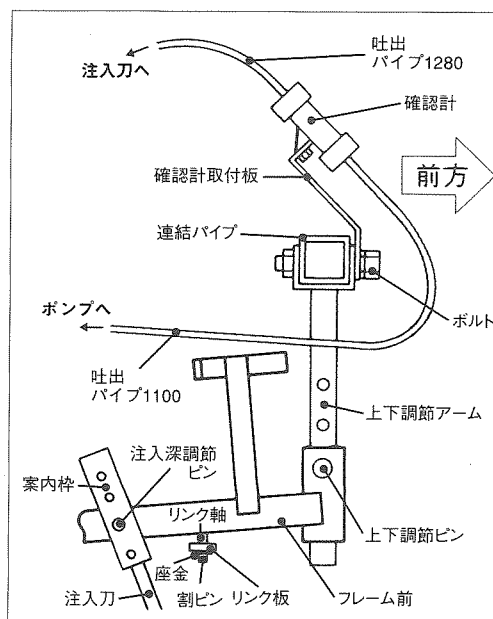
[注] ・ロータリー耕うん幅により、ヒッチ固定座の取付位置が変わるので、8ページの「調節ヒッチの場合[注]」を参照して位置を決めてください。
・各2条単位で左右はありません。

(4) ノズル吐出パイプ1280が上になるように確認計取付板を上下調節アームと連結パイプと一緒にボルト(M16×85ℓ)で締付けてください。

[注] 確認計取付板は、連結パイプと垂直になるように締付けてください。

(5) 右側の2条と左側の2条とをリンク板で連結してください。

・使用部品 (座金……………2個)
(割ピン……………2個)



4 トラクターの準備

■ トラクターの準備

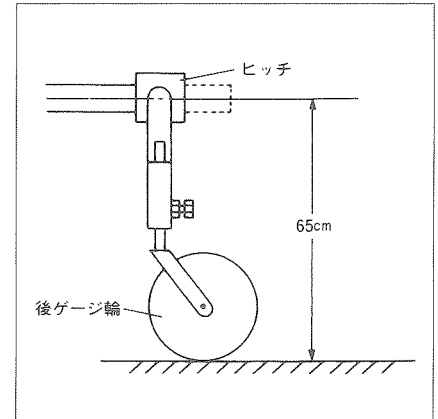
(1) トラクターの後ゲージ輪をヒッチの中心から約65cmになるようにセットしてください。

[注] ①65cmは耕うん深さを約20cmにした場合の寸法です。

②ポジションコントロールを利用する場合は、後ゲージ輪は不要ですので、地面からヒッチの中心までの距離を約65cmにしてください。

③後ゲージ輪が調節できない場合は、9ページの「注入深さの調節(2)」を参照してください。

④前ゲージ輪タイプのロータリーについては、取付ヒッチがついていないので、取付ヒッチを各ロータリーメーカーからご購入してください。



(2) 耕うん爪の配列及びリヤカバーを平面耕用にセットしてください。

■ トラクターへ本機の組込み

トラクターのロータリーに作業機を取付けるヒッチの形状は大別して2種類(チャンネルヒッチ・調節ヒッチ)があります。

[注] 前尾輪タイプのロータリーはヒッチが取付いていませんのでロータリーのメーカーよりヒッチご購入の上取付けてください。

1. チャンネルヒッチの場合

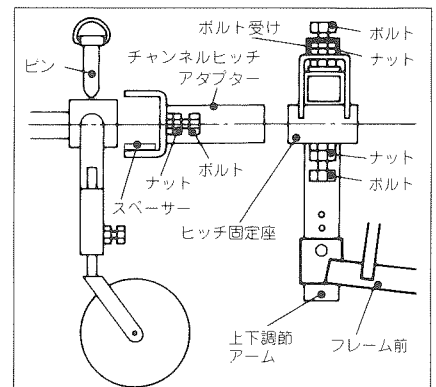
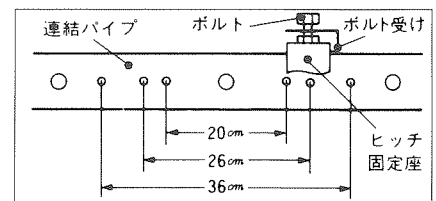
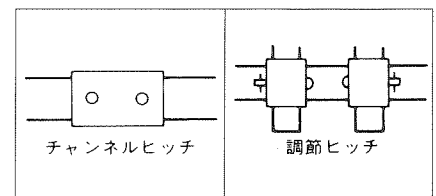
(1) トラクターのヒッチにチャンネルヒッチアダプターを2本のピンで取付け、ボルト(M16×50ℓ)でガタがないよう締付け、ナット(M16)でロックしてください。

[注] チャンネルヒッチの厚さが60mmの時は付属のスペーサーを間に入れてください。

(2) ヒッチ固定座の内側を20cmの印の位置に合せボルトで仮締付してください。この時ボルト受けがあることを確認してください。

(3) チャンネルヒッチアダプターにヒッチ固定座のパイプを上下調節アームがリヤカバーにあたらない位置まで挿入してください。

(4) 上記(2)で仮締付したボルトを緩めてからヒッチ固定座をチャンネルヒッチアダプターにボルトで締付けナットでロックし、次に連結パイプにボルトで締付けナットでロックしてください。



トラクターの準備

2. 調節ヒッチの場合

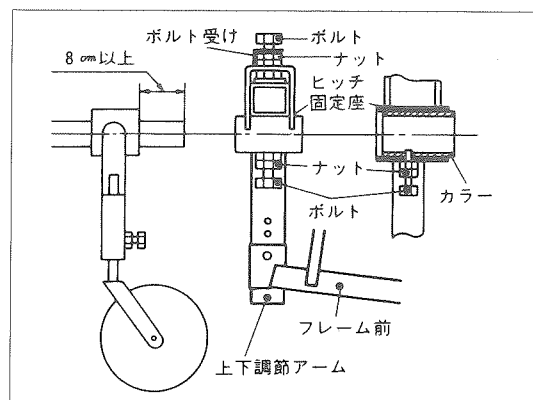
20PS以上のトラクターの調節ヒッチの直径 ϕ (cm)、及び巾W (cm)はおおよそ表のようになります。尚、トラクターにより両方のヒッチのものがありますが、その場合は適宜選択して使用してください。

No.	ϕ (cm)	W (cm)
1	4.27	20
2	3.7, 3.82	24.5
3	4.86	26
4	4.86	36

- (1) 連結パイプには調節ヒッチの寸法に相当する位置20cm、26cm、及び36cmの所に印がつけてありますのでヒッチ固定座の内側を合せてボルトで仮締付してください。この時ボルト受けがあることを確認してください。

尚、24.5cmの場合は印がありませんが、26cmより少し内側に仮締付してください。

- (2) 調節ヒッチにヒッチ固定座のパイプを8cm以上、上下調節アームがリヤカバーにあたらない位置まで挿入してください。



- (3) 調節ヒッチの直径が3.7cm及び3.82cmのものはカラーをヒッチ固定座のパイプの中に入れて、ボルト締付時にカラーの穴へボルトを入れてください。

- (4) 上記(1)で仮締付したボルトを緩めてからヒッチ固定座を調節ヒッチにボルトで締付け、ナットでロックし、次に連結パイプにボルトで締付けナットでロックしてください。

[注] 以上はロータリーの耕うん巾が140cm以下の場合であり、140cmを越えると注入跡をロータリが耕うんするのでロータリが注入跡を耕うんしないよう表を参考にして、ヒッチ固定座をオフセットした位置に取付けてください。

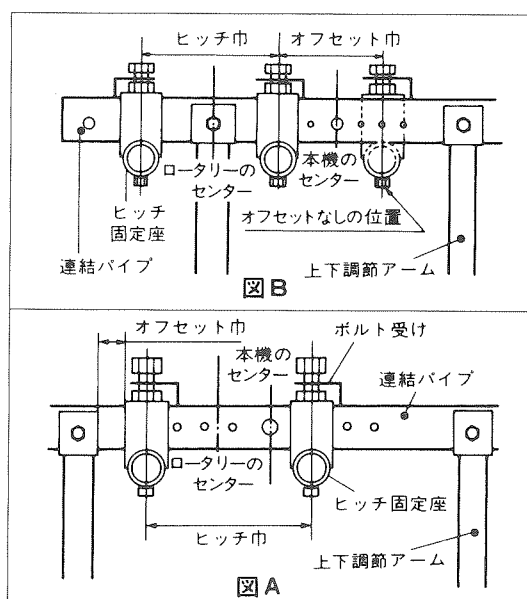
ロータリーのオフセット可能巾

ロータリー耕うん巾 (cm)	オフセット可能巾 (cm)
145	4.5~27.5
150	7.0~30.0
155	9.5~32.5
160	12.0~35.0

尚、最小値は注入跡から7cmはなれた所を耕うんします。

本機のオフセット可能巾

ヒッチ固定座の位置	ヒッチ巾 (cm)			
	20	24.5	26	36
図 A	0~13	0~11	0~10	0~5
図 B	27~33	25~35	24~36	19~41



5

ご使用方法

警告

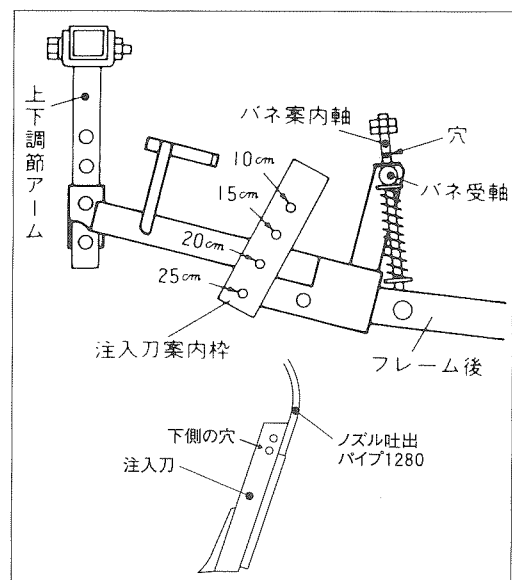
- ①作業及び点検等をする時は、必ず防毒マスク、防護衣、保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、ヘルメット等を着用してください。
ガス化した薬剤を吸いこむと、涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。
- ②作業及び点検時には、注入刀が地面から出た状態で鎮圧輪をまわさないでください。
守らなかった場合、薬液が飛散して、吸いこむと涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。
- ③本機をリフト(上昇)した時に、薬液が吐出する恐れがあるので、ゆっくりと注意してリフト(上昇)してください。また後部に人がいないことを確認してからリフト(上昇)してください。
薬液が飛散して、吸いこむと涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。

■ 注入深さの調節

- (1)トラクターへの取付方法に従って地面からヒッチの中心までの距離を65cmにセットし、上下調節アームの上から3番目の穴及び注入刀の「上側」の穴にピンを取付けた時、注入深さは図のようになります。

お望みの注入深さに注入刀案内枠の穴位置を替えてください。

- 〔注〕注入刀の下側の穴を使うと、図の寸法より注入深さが2.5cm浅くなります。



- (2)地面からヒッチの中心までの距離が65cmにセットできない場合は、下記方法で注入深さを調節してください。

・70cm以上の場合……上下調節アームの穴を一番下の穴に組替えて、お望みの注入深さになるように注入刀案内枠と注入刀の穴を組替えてください。

・60cm以下の場合……上下調節アームの穴を一番上の穴、また上から2番目の穴に組替えてお望みの注入深さになるように注入刀案内枠と注入刀の穴を組替えてください。

- (3)作業中に、バネ案内軸の穴がバネ受軸の上側に見えることを確認してください。

穴が見えなければ、ヒッチの高さまたは上下調節アームの穴位置を組替えて穴が見えるようにしてください。

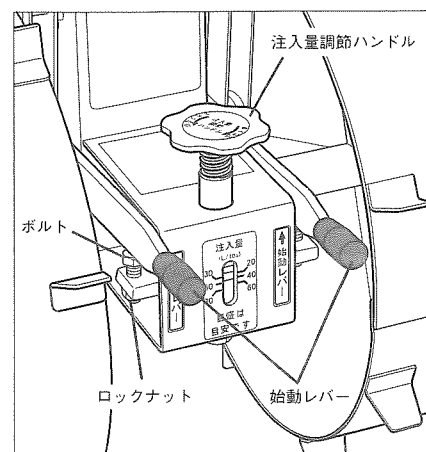
- 〔注〕土質によりトラクターの沈み具合または耕うん深さにより、注入深さが変わるのでヒッチの高さ、上下調節アームの穴及び注入刀の穴位置を適宜組替えてください。

ご使用方法

■ ポンプの作動確認

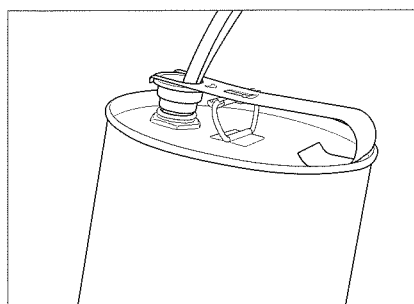
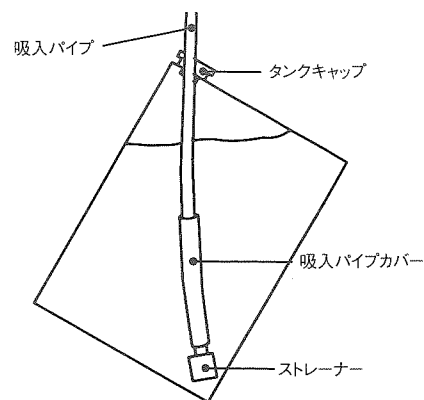
ポンプの作動確認は、始動レバーを使って行います。
まず、付属の洗浄タンクに準備した水道水を始動レバーを動かして吸入させ、ノズルから水が吐出すればポンプは正常に働いています。
作動確認後はポンプの水を排出してください。

〔注〕 この時、確認計の浮子が動いていることを確認してください。
確認計の浮子が動かず吐出しない時は13ページの「不調と処置」を参照してください。

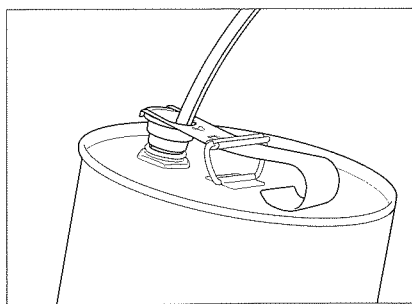


■ タンクの取付け

- (1) 薬液タンクの口を前側にしてフレーム前に乗せてください。
- (2) 薬液タンクをタンクバンドで固定してください。
〔注〕 吐出パイプをムリに曲げないでください。
- (3) 吸入パイプをタンクの最下部まで入れて、タンクキャップで蓋をし、安全の為付属のキャップバネで押えて下さい。
〔注〕 ストレーナーが膨潤することで、ストレーナーがタンクに入りにくい、抜けにくい場合があります。その際はストレーナーを交換してください。



小型タンクの場合

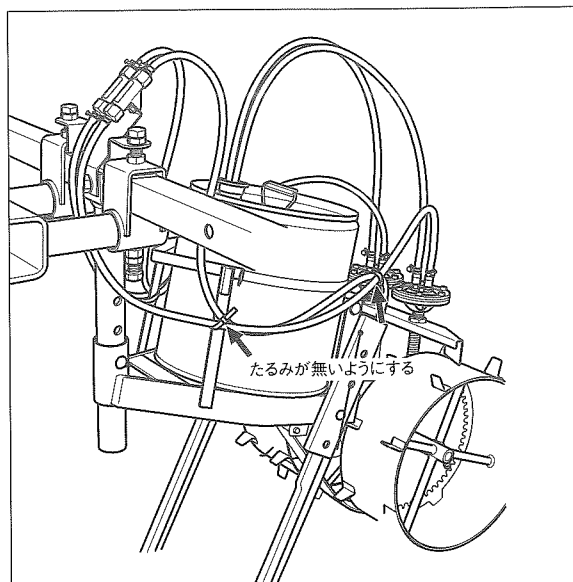


大型タンクの場合

ご使用方法

■ 吐出パイプの固定

注入刀の深さが決まったら、矢印の4箇所をバンドで固定して、パイプが大きくなるまじょうにします。固定しないと液ダレが生じます。



■ 施薬作業

(1) 注入量調節ハンドルを回し、希望する注入量に合せます。

〔注〕 注入目盛りは目安です。薬液や環境により注入量は変化しますので、希望する注入量と異なる場合は、作業途中に注入量調節ハンドルを回して微調整してください。

(2) 注入刀を土中に入れた状態で始動レバーを動かします。確認計の浮子が動き出し、始動レバーに手ごたえが出るまで続けます。

(3) トラクターを走行させて作業を開始します。作業速度は0.7m/秒(時速2.5Km)以下でご使用ください。

〔注〕

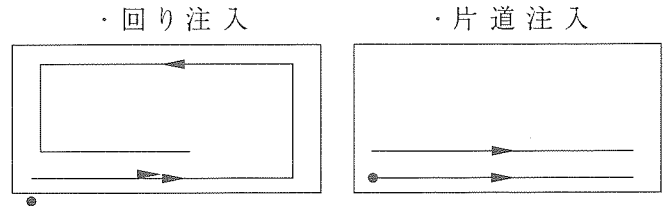
- ・始動時、ホース、確認計内の空気が完全に抜けたことを確認してください。
- ・高粘土の薬液の使用や作業速度が速過ぎると、吐出量が大きく低下することがあります。
- ・左右の吐出量の差が多い時、いずれか一方の吐出量に合わせるため、ロックナットをゆるめボルトの高さを調整します。(高くする…減量、低くする…増量)
- ・圃場表面に大きな凹凸があると、走行中に接地板が下がり車輪がロックする恐れがありますので圃場表面は均平にしてください。
- ・注入刀を土中に入れたまま後進すると、チェック弁付ノズルの穴に土が詰まる恐れがありますので後進は注入刀を土中から出した状態で行ってください。

(4) 作業を中断する時や作業終了時には、注入刀を土中に入れたまま吸入パイプを薬液タンクから抜き始動レバーを動かしてポンプ内の薬液を排出してください。薬液排出後、付属の洗浄タンクを使って水道水を吸入させポンプ内をよく洗浄してください。

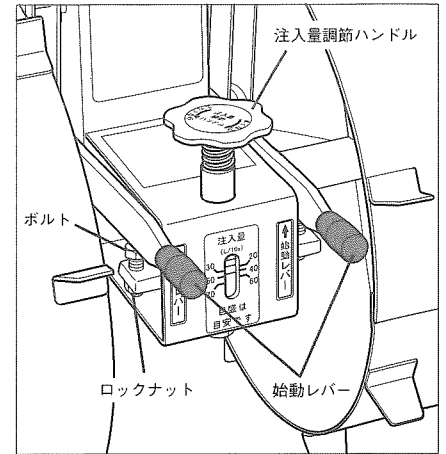
ご使用方法

■ ほ場での作業方法

オフセットしない場合、通常の耕うん作業と同じですが、オフセットした場合、右図のような作業方法があります。



- 〔注〕
- ・高粘土の薬液の使用や作業速度が速過ぎると、吐出量が大きく低下することがあります。
 - ・左右の吐出量の差が多い時、いずれか一方の吐出量に合わせるため、ロックナットをゆるめボルトの高さを調整します。(高くする…減量、低くする…増量)
 - ・圃場表面に大きな凹凸があると、走行中に接地板が下がり車輪がロックする恐れがありますので圃場表面は均平にしてください。
 - ・注入刀を土中に入れたまま後進すると、チェック弁付ノズルの穴に土が詰まる恐れがありますので後進は注入刀を土中から出した状態で行ってください。



■ ポンプの洗浄・保管

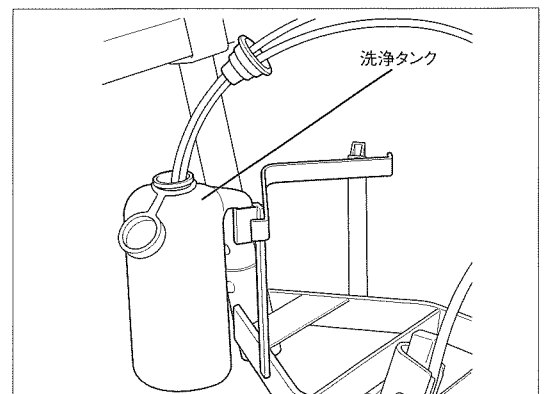
⚠ 警告

- ① ポンプを洗浄する前には、必ずポンプ内の薬液を土中に排出してください。
守らなかった場合、薬液が飛散して、吸いこむと涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。
- ② 使い残しの薬剤や本機の洗浄水は、用水や河川等へ流れ込むことのないよう適正に処理してください。
不注意に廃棄したり、薬剤を放置したりすると思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

- ・作業終了後はポンプ内を水道水でよく洗浄し、ポンプ及び確認計の中の水を排出してください。
- ・薬液や泥の付着したところをよく水洗いして、乾燥させた後、日の当たらない所に保管してください。
- ・ストレーナーは乾燥状態で保管してください。

重要

- ① 作業終了後は、必ずポンプ内をよく洗浄してください。
薬液が残っていると、ポンプ内部が腐食したり、吸入、吐出バルブなどが弁座に付着して不調の原因になります。
- ② 確認計の中の水は、完全に抜いておいてください。
冬期にガラス管が凍結し、破損する恐れがあります。
- ③ 作業を中断する時及び移動・運搬時には、水道水を吸入し必ずポンプ内を洗浄してください。
また、薬液タンクの蓋は確実に締めてください。
ポンプの洗浄は、付属の洗浄タンクを御利用ください。



6 仕様・不調と処置

仕様

名 称	みのるトラクター用土壤消毒機 4 条型	
型 式	IDT-44	
形 式	トラクターけん引式	
全長×全幅×全高 (mm)	850×1270×805	
重 量 (kg)	75	
条 数 (条)	4	
条 間 (cm)	30	
タンク容量	市販の20ℓ角缶・丸缶を2個搭載	
注 入 量 (ℓ/10a)	20～70 (無段階調節)	
注 入 深 さ (cm)	10～25	
注 入 ピ ッ チ (cm)	30 (干鳥点注)	
作 業 速 度 (m/秒)	0.7以下	
作 業 能 率 (分/10a)	25～35	
装着可能トラクター	20PS以上, 特殊3点リンク用	

不調と処置

警告

点検及び分解する時は、ポンプ内に薬剤が残っている場合がありますので、必ず防毒マスク、防護衣、保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、ヘルメット等を着用してください。ガス化した薬剤を吸いこむと、涙がでたり呼吸困難になり大変危険です。

不 調 内 容	点 検 ・ 分 解 ・ 修 理	注 意 事 項	
薬液が吸入・吐出しない	ポンプの関係	<ul style="list-style-type: none"> パイプバンドを増し締めしてください。 吸入パイプを外し、吸入バルブを針金等で軽く突き、水道水またはオイルを入れて吸入させてください。 ダイヤフラム押えAYを分解し、掃除をしてください。 ダイヤフラムを点検し、破損していれば交換してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 各部を水道水で洗浄し、元通りに組立してください。 ポンプロッドとダイヤフラムを十分締付けてください。 ポンプ吸入・吐出弁座のパッキンをつぶれるほど強く締付けないでください。 作業を中断する時及び作業終了時は、必ずポンプ内を洗浄してください。
	確認計の関係	<ul style="list-style-type: none"> 確認計ジョイントを増し締めしてください。 パイプバンドを増し締めしてください。 ガラス管が破損していれば交換してください。 パッキンが破損していれば交換してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 確認計の中の水は冬期には凍結する恐れがあるので、抜いておいてください。
	吸入及び吐出パイプの関係	<ul style="list-style-type: none"> 老化して亀裂が生じていれば交換してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいパイプを挿入する時は、樹脂パイプの先を熱湯で温めて挿入してください。(挿入容易のため)

7 アタッチメント

3点リンクアダプター

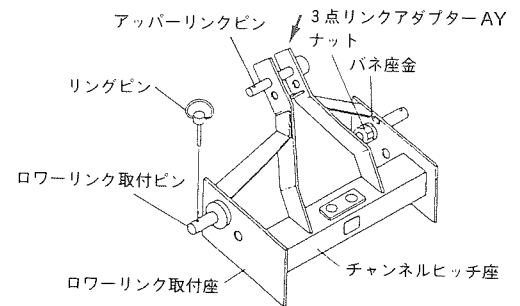
本アダプターは、トラクターの特殊3点リンクにトラクター用土壤消毒機4条型を取付ける場合に使用します。

1. 仕様

名 称	3点リンクアダプターAY
全長×全幅×全高 (mm)	400×700×440
重 量 (kg)	15
適 応 ト ラ ク タ ー	50PS以下の特殊3点リンク用
適 応 リ ン ク の 種 類	0形, 1形

・標準3点リンクに使用する場合は別売の3点リンクアダプター補助金具を準備しています。

2. 各部の名称



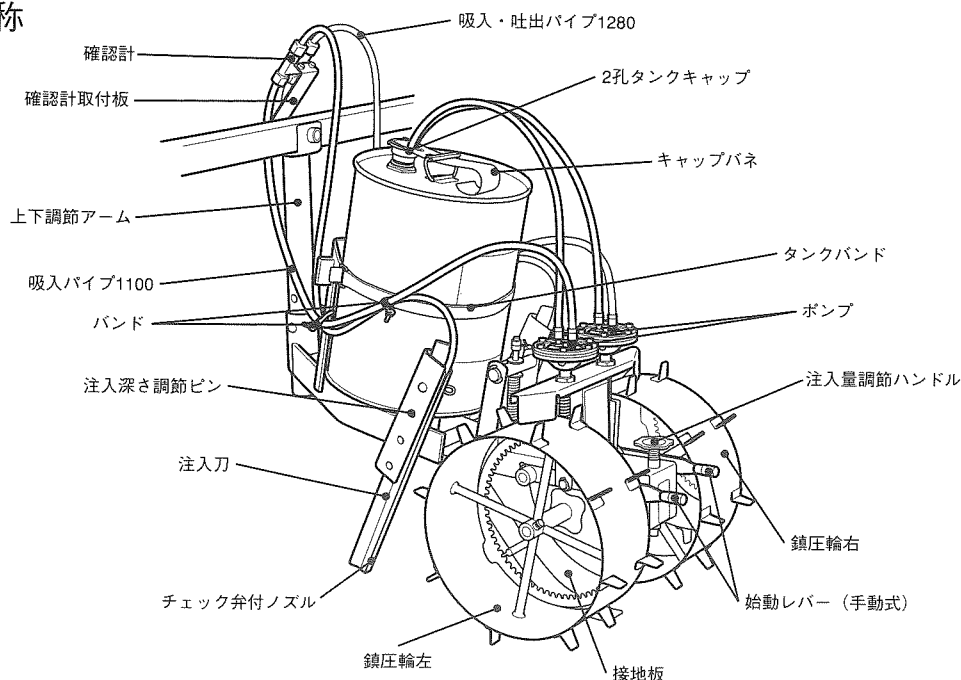
トラクター用アタッチ土壤消毒機2条型

本トラクター用アタッチ土壤消毒機2条型は、トラクター用土壤消毒機4条型に組合せて6条で作業する場合に使用します。

1. 仕様

名 称	トラクター用アタッチ土壤消毒機2条型
全長×全幅×全高 (mm)	850×470×805
重 量 (kg)	30
装 着 可 能 ト ラ ク タ ー	30PS～50PS

2. 各部の名称



この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。



みのる 産業株式会社

本 社 工 場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市447
TEL.(086)955-1123(代) FAX.(086)955-5520

東 京 支 店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野210
TEL.(048)683-9451(代) FAX.(048)683-9452

長 野 営 業 所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野582-4
TEL.(026)257-6530(代) FAX.(026)257-6531

九 州 支 店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1020-1
TEL.(092)921-6006(代) FAX.(092)921-6008

ホームページ <http://www.minoru-sangyo.co.jp>